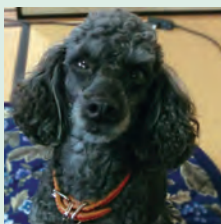


ペットと高齢化について



私の家には、雄のトイ・プードルの「クッキー」がいます。東京の世田谷育ちで4歳の時に縁あって家族となりました。ペットは生活を癒やし安らぎを与えてくれ、家族のコミュニケーションに役立ちます。

近年のペットの飼育数は、犬は減少・猫は横ばいの傾向にあり、平成29年には猫の飼育数が犬の飼育数を上回りました。この犬の減少の要因の一つに人間の高齢化があり、朝夕の散歩の世話が大変になっております。このような所にも高齢化の影響がでております。

第2回とうがね近江びな祭り

とうがね近江びな祭りが、2月1日から3月3日までの期間で「道の駅みのりの郷東金」のとっちなで開催されました。市内在住の松本展し先生の陶びなを中心に販売も行われ、メンバー18名がスタッフとなって祭りを盛り上げていました。いずれは、勝浦のビッグひな祭り、御宿のつるし雛祭りに東金近江びな祭りが加わり、千葉県3大ひな祭りとして、お雛様めぐりが出来ればと、メンバーの思いは膨らんでいるそうです。



子どもの貧困と経済成長

「経済学の父」と称されるアダム・スミスは、多くの名言を残しましたが、その中の一つに「1人の富者があるためには、500人の貧者がなくてはならない」という言葉があります。

私たちが暮らす日本は、世界3位のGDPを誇る豊かな経済大国ですが、一方で「格差社会」と呼ばれるように、独居の高齢者や「ひとり親世帯」などに多いとされる生活困窮者は、年々増加の傾向にあります。

厚生労働省の発表によりますと、平成28年度の日本の子ども達の相対的貧困率は15.6%（約6人に1人）であり、そのうち「ひとり親世帯」だけを見ると50.8%にのぼり、2人に1人の子どもが貧困に喘いでいる状況がうかがえます。

貧困の問題は、人権問題だと思われがちですが、国際社会で統計を取っているのは「経済協力開発機構（OECD）」という、先進35カ国が加盟している経済成長に関する国際機関です。

なぜ経済に関する国際機関が貧困を調査しているかといえば、それが各国の経済成長に関係すると考えられており、相対的貧困率が上昇している国は、将来の経済発展に問題があるという分析もなされております。

我が国の相対的貧困率は、先進35カ国の中で7番目に高く、国の豊かさと相反する状態にあり、景気回復と合わせまして、子どもの貧困からの脱出は一刻も早く改善をしなければならない重要な課題の一つだと思います。

所得格差の是正や「ひとり親世帯」への支援の強化などは、国の政策に期待を寄せるところですが、国の宝である子どもたちが夢と希望を持って成長し、将来、あらゆる分野で活躍できる無限の可能性を信じ、地域社会全体で子どもたちを支え、しっかりと守り健やかに育てていくまちづくりを進めることが、私たち大人の責務であると感じています。

幸せを実感できる東金市に向けて

早いもので、伝統ある議長の任を仰せつかり1年が過ぎようとしています。私は市民の生命や暮らしを最優先に考え、市民の皆様が将来に希望を持ち、幸せを実感できる東金市に向けて努めてまいります。

国内景気は「いざなぎ景気」を超えて戦後2番目に長い好景気の局面にあります。しかしながら、企業業績の向上や雇用の大幅な改善など、数値をみれば好景気にもかかわらず、雇用形態が終身雇用から非正規雇用に変化したことにより、賃金の伸びが鈍いため、好景気の実感に乏しい状況であります。

言うまでもありませんが、地方では急激な人口減少に伴い、少子高齢化が進んでおり、毎年社会保障費などの増加により地方財政は疲弊しています。今までが補助金の奪い合いとするならば、これからは負担の押し付け合いになるのではないのでしょうか。

未来年表によりますと、2020年には、女性の2人に1人が50歳以上となり、その2年後の2022年には、3世帯に1世帯が一人暮らしとなり、その2年後の2024年には、全国民の3分の1以上が65歳以上になるとのことです。

私ども市議会といたしましては、来るべき少子高齢化、人口減少、地方創生に対応して、子どもの笑顔があふれ、若い皆様には「この街で結婚して子どもを生み育てたい」、高齢者の皆様には「長生きして良かった」、何よりも「東金市に住んで良かった」という実感と誇りを将来の世代、未来につないでいきたいと考えております。

プロフィール

昭和33年 1月15日生まれ
昭和45年 東金市立丘山小学校卒業
昭和48年 東金市立東金中学校卒業
昭和51年 千葉県立東金商業高等学校卒業
昭和55年 立正大学経営学部経営学科卒業
(学園祭実行委員会委員長)
昭和55年 網中産業株式会社入社
平成21年 網中産業株式会社退社
平成21年 東金市議会議員 初当選
平成25年 東金市議会議員 2期当選
平成29年 東金市議会議員 3期当選



石井参議院議員と

議会経歴

●文教厚生常任委員会 委員長
●建設経済常任委員会 委員長
●東金市農業委員会 委員
●予算審査特別委員会 副委員長
●決算審査特別委員会 副委員長
●東金市ガス運営委員会 委員長
●東金市健康づくり推進協議会 会長
●子ども・子育て会議 副会長などを歴任
現在、東金市議会議員
山武郡市議会 幹事
東金県交流協会 理事



元榮参議院議員と

若さ・情熱・実行

せいみや利男 まちづくりレポート

平成30年3月10日 発行／せいみや利男後援会事務所 東金市丹尾150 TEL.0475-52-7015 FAX.0475-52-7016

市民ファーストのまちづくり

日頃から市民の皆様には、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年3月の市議会議員選挙では、皆様方の力強いお力添えをいただき、3期目の当選を果たすことができました。また、その翌月の市議会臨時会において、伝統ある議長の任を仰せつかり、日々研鑽を重ねつつ、全力で議員活動に取り組んでおります。

さて、平成30年度の東金市の一般会計当初予算案は、4月に市長選挙が予定されていることから、骨格予算として編成され、前年度対比で6億8千万円の減額、3.6%の減率となっています。

ご承知の方も多いと思いますが、現在の東金市の財政状況は、非常に厳しく、骨格予算といえど、一般家庭の預貯金に当たる財政調整基金から2億3千万円も繰り入れなければならず、新たな市長の下で肉付け予算がなされるにしても、一定の市民サービスの低下は逃れられない状況となっております。

厳しい財政状況ではございますが、議会と市行政がしっかりと担うべき役割を果たしつつ、市民の皆様との協働により、東金市が今後も九十九里地域の申核都市として発展を続けられるよう、市政に携わる一員として『市民ファースト』の理念の下に、刻苦精励の努力を続ける所存です。

このような私の思いや市政の状況を報告させていただきますので引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

東金市議会議員 せいみや利男

県の担当部長(中央)に要望書を提出



東金市議会と九十九里町議会は、1月22日に経営難が続いている東千葉メディカルセンター（以下、東千葉MC）に対する追加財政支援策を含めた包括的支援を、県知事と県議会に要望書を2議長連名で提出いたしました。

千葉県からは、病院事業に対して総額85億6,000万円の財政支援のほか、看護師派遣などの包括的支援をいただいております。

私ども、設立団体の議会といたしましても、平成26年4月の開院時から担ってきた安全で質の高い医療を継続的に提供し、地域医療を支えていただくことを願い、設立団体との協議を通じて東千葉MCを支えていかなければならないものと強く認識しております。

東千葉メディカルセンターに対する追加財政支援を千葉県と県議会に要望書提出



東千葉メディカルセンター

しかしながら、東千葉MCの経営状況は想像以上に厳しく、医師や看護師不足で計画どおりに病床を開けず、十分な収入を確保できていない状況であります。開院4年間で平成29年度末に見込まれる累積赤字は57億3,400万円になります。中期計画と実績との乖離が生じた場合の資金についても、設立団体からは、このまま厳しい状況が継続した場合には資金が底をつく可能性まで示された状況です。厳しい経営状態で経営再建が急がれているなか、今後の経営を安定させていくためには、東千葉MCの一層の努力を前提としても、根本的な改善のためには、これまでの支援策に加え、更なる支援策が必要であると考えております。

つきましては、東千葉MCの設立準備段階からの経緯、そして救急医療・急性期医療を核とした二次医療圏内唯一の三次救急医療の貢献度等をご考慮いただき、現在の枠組みを超えた追加財政支援を含めた包括的支援をお願いし、設立団体の議会として要望書を提出してまいりました。

農地所有者と耕作者に朗報です

農地中間管理機構へ農地の貸付を行った場合に、一定の要件を満たすと地域や農地の所有者に協力が金が支払われます。

機構集積協力の金の交付単価（平成30年度）

①地域集積協力の金

農地の一定割合（二割超）を機構に貸す場合

機構への貸付面積割合	新規集積分	新規集積以外
2割超～5割以下	1.0万円／10a	0.5万円／10a
5割超～8割以下	1.4万円／10a	
8割以上	1.8万円／10a	

※平成30年12月までに地区の一定の割合の農地を機構へ貸し付ける必要があります。

②経営転換協力の金

離農や縮小する部門の農地を機構を通じて借り手農家へ貸した場合

機構への貸付面積	交付単価
0.1ha未満	3万円／戸
0.1ha以上1ha未満	貸付面積×3万円／10a
1ha以上2ha以下	50万円／戸
2ha超	70万円／戸

③耕作者集積協力の金

借り手が耕作する農地に隣接した2筆以上の農地を機構を通じて借り手に貸した場合

機構への貸付面積	交付単価
10aあたり	5千円

※平成30年10月までに農地を機構へ貸し付け、12月までにその農地の農用地利用配分計画について県の認可をうける必要があります。

平成29年度より国は農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の申請、同意、費用負担によらない基盤整備制度（県による整備）を創設しました。これは農地の担い手が中間管理機構を利用し、規模拡大を進められるようにする、農地の貸し手から担い手へ農地の貸借が進むようにすることが目的です。

農地の所有者には費用負担（12.5%）がないかわりに5つの要件があります。

詳しくは農政課農政係へ ☎50-1138



東金市のイノシシ・小型獣の駆除対策について

千葉県イノシシ対策マニュアルによりますと、イノシシは毎年1回出産し、平均で4～5頭（最大8頭）産むとのことです。途中で死亡しないと仮定して計算しますと、まず雄雌の1ペア（2頭）から1年後は7頭となり、2年後は27頭、3年後は107頭になります。ともかく繁殖力は旺盛で人間社会で起っている少子高齢化とは無縁です。

東金市でのイノシシの目撃は、まず松之郷で始まり、その群れが滝沢・酒造・三ヶ尻に出没するようになりました。平成25年頃より松之郷とは別の群れが、大網白里市養安寺より雄蛇ヶ池を回り小野に出没するようになり、その群れが山田・田中・山口周辺に現れ、目撃情報が増えました。

県の補助金を活用して、平成24年度に松之郷において2段の電気柵を約2,900m、事業費は47万円で設置し、小野においては平成28年度から2年間で約5,000m、事業費は100万円で設置した結果、田んぼにいたイノシシが追い出され捕獲数が急増しました。

またハクビシンやアライグマなどの小型獣は、市全域においてスイカやブドウなどの果実を中心に、トウモロコシなどの野菜にも被害を与えています。

東金市 イノシシ及び小型獣捕獲実績

捕獲種目 年度	イノシシ					小型獣
	小野	山口	松之郷	滝沢	合計	
平成29年度 (平成30年2月末現在)	37頭	5頭	2頭	1頭	45頭	21頭
平成28年度	33頭	—	—	1頭	34頭	28頭
平成27年度	9頭	—	—	—	9頭	33頭

※東金市の有害鳥獣駆除事業での認知している捕獲数

イノシシの目撃情報や農作物被害があった場合には、わな担当の猟友会員と職員でわなの設置をしています。特に繁殖力の強いイノシシの駆除は急務で、農作物被害の先には、農地の借り手からのキャンセルや被害地域の不動産価格の下落などの2次被害が心配です。イノシシや小型獣の問題は、このように地域全体の問題として認識しなければなりません。

詳しくは農政課農林振興係へ ☎50-1137



東金市のガス事業の経営状況について



東金市のガス事業は、千葉県産天然ガスを供給することにより、全国でもトップクラスのガス料金の安さで市民の皆様にご利用いただいております。

しかし、経営状況については、近年利益が減少し平成28年度決算において、2,393万円の赤字を計上する結果となりました。

この原因としては、オール電化との競合や熱効率の高いガス機器の増加等によるガス販売量の減少のほか、原料ガスの値上がりもありますが、一番の問題は収支も考えずにガス管の入替工事を前倒しして進めたことが原因です。今後は現況に至った原因を踏まえ、ガス販売量を増加させるため、営業活動の推進や適正な収支バランスと経費の削減を念頭に実効性のある対策を行い、市民の皆様に一層安心してご利用いただける状況に改善していかなければなりません。

ガス事業純利益の推移

年度	年度
平成28年度	△2,393万1千円
平成27年度	516万6千円
平成26年度	1,475万3千円
平成25年度	5,334万2千円
平成24年度	9,103万1千円
平成23年度	9,642万5千円
平成22年度	1億4,352万2千円
平成21年度	1億3,155万1千円
平成20年度	1億5,751万8千円

建設改良費の推移

年度	年度
平成28年度	1億1,885万円
平成27年度	1億6,389万3千円
平成26年度	2億3,691万3千円
平成25年度	2億0,902万2千円
平成24年度	2億1,187万4千円
平成23年度	2億2,761万5千円
平成22年度	1億8,544万7千円
平成21年度	1億6,578万3千円
平成20年度	1億9,727万2千円

ふるさと納税について

東金市に対してふるさと納税（寄附）をすると、納税（寄附）額のうち2,000円を超える部分については、一定の上限額まで所得税・住民税から控除され、さらに寄附額に応じて東金市から返礼品が送られます。

東金市としては、ふるさと納税という制度を通じて多くの方々に東金市の魅力を知っていただきたく、東金市の特産品や東金市に足を運んでいただくものを返礼品として31種62品（期間限定品を含む）揃えております。なお、通年ご用意しているものはメロン、カレー、たまご、避難緊急セット、お食事券などがあり、その他に期間限定でブラム、いちご、ぶどう、シクラメン、ゴルフプレー券などがあります。

近年の状況

	東金市への ふるさと納税総額	東金市民の 個人住民税控除額
平成28年度	3,305,000円	9,928,000円
平成27年度	2,450,000円	6,350,000円
平成26年度	70,000円	2,330,000円

※個人住民税控除額：ふるさと納税を含む寄附により個人住民税から税額控除される額



減災 今できることから

東日本大震災の被災地で見えた問題が風化しつつあります。一昨年の新聞社の世論調査で、回答者の8割が風化を意識しているという数字があり、ショックを憶えました。世代を超え、地域を越え、どう伝承するか、生活に溶け込む仕掛けが必要です。

人生100歳時代の多様な生き方

日本は、急激な人口減少や少子高齢化が進んでいますが、将来にわたり活力を保つには、高齢者の力が欠かせません。65歳以上を一律に高齢者とみなす考え方から、年齢にとらわれることなく生き生きと活躍できる「エイジレス社会」という考え方は、高齢になっても意欲・能力ともに十分な人にとっては大きな転換となります。



内閣府の調査によりますと、60歳以上の8割近くが65歳以降も働きたいと答えていますが、総務省の調査では、実際に65歳を超えて仕事を続けている人は2割にとどまっています。なにも高齢者の活躍の場は、仕事だけに限らず、趣味であったり、社会活動であったり、多様な生き方を尊重して人生の選択肢を広げていくことが重要となります。

地震予知は出来ないと報告されていますので、やらなくてはいけないことは単純で、備えるしかないということです。ぜひお願いしたいことは家具の固定で、特に寝室の家具の固定は即死を防ぐ対策としては最も有効であります。また大地震の時、頭を守るものが無い時は手のひらを下に向けて頭の上で左右から両手で覆うことでケガを減少させます。



リュエイク・マルメゾン市の皆様を歓迎

産業祭

城西国際大学懇談会

やっさフェスティバル

市政功労者表彰式



東金国際交流パーティ

安曇野ハーフマラソン

防災訓練

消防団車両配属式

東金チャレンジドフェスタ